

<b>Title</b>	第8回ピア・スーパービジョン(SWnet(Seigakuin Welfare Net ~聖学院大学 人間福祉学科卒業生を中心とした福祉ネットワーク)と聖学院大学総合研究 所の共催による)
<b>Author(s)</b>	眞田, 沙織
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.21-No.4, 2012.2 : 15-16
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3704">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3704</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

SWnet (Seigakuin Welfare Net ~聖学院大学人間福祉学科卒業生を中心とした福祉のネットワーク) と聖学院大学総合研究所の共催による

## 第8回ピア・スーパービジョン

眞田 沙織

### はじめに

2011年10月15日(土) 聖学院大学にてピア・スーパービジョンが行われました。ピア・スーパービジョンとは保健・福祉現場、あるいは一般企業において対人援助の仕事をしている人たちの交流研修会です。

前半は「ソーシャルワーカーとしての歩みと『ぴあ三浦』の活動」という主題で、精神障害についての啓蒙活動と、心の病を抱えた人が地域社会でともに生きるための支援を行っている大野和男氏(NPO法人精神障害者のあすの福祉をよくする三浦市民の会びあ三浦理事長、聖学院大学非常勤講師)に講演をしていただきました。後半では、グループに分かれてピア・スーパービジョンを行いました。本学の卒業生だけでなく、一般の方々や在學生が参加されていました。

### 1、大野和男先生の講演「ソーシャルワーカーとしての歩みと『ぴあ三浦』の活動」を聞いて

今回出席した理由は、講演を聞きたかったからです。以前仕事で疲れきってしまったことがあり、講演を聞くことで、仕事への考え方に固定概念以外の発見をしたかったからです。講演を聞いて感じたことは、先生の生き生きとした表情がとても印象的でした。仕事という観点の講演というよりも人生の感性を聞くことができました。

講演では、先生の経歴やピア三浦での取り組み等を中心に大野先生が今までの人生をお話しくださいました。小規模だからできる地域との関わりやいち市民としての関わりを聞き、大規模事業所で働く私にとっては難しいことと感じました。ただそれと同時に基本的な考え方は、同じなのでは



講演者の大野和男氏(NPO法人精神障害者のあすの福祉をよくする三浦市民の会びあ三浦理事長)

ないかと感じました。具体化することで、問題や解決を見つけることができること、これをしなくてはいけないという考え方ではなく、興味のあることを追求すること、視点を変えることで先に進みやすくなり広がりを見つけられること等再認識できたと思います。

最後に質問しようか迷っていたことを助川先生が聞いて下さいました。「先生はいつも元気ですが、なぜですか?」というものでした。私自身も聞きたかったのは、「先生の元気の源は何ですか?」ということでした。答えを聞き納得しました。「活動するとアイデアがわく、それを周りに伝え話が盛り上がる。関係のない人でも話をすることがとても楽しくエネルギーをもらっている。だから元気でいられる」と話されていました。

エネルギーの源や人生のターニングポイントの一つ一つが、将来の蓄積として役立つということも伝わってきました。また仕事は大切だが、趣味や楽しみの上にある仕事の方がもっと積極的に関わることができるのだとも感じました。人との関わりが自分に新たな発見をもたらしてくれるのだとも感じました。自己実現のために追求していくことこそ、人生を幸福とする鍵だと感じました。

## 2、ピア・スーパービジョンの感想

少人数でのディスカッションにおいては、各個人の現状を話すと共にいろいろな思いを話すことができました。

特に今回は、在学生がいたということもあり学生時代の自分を振り返る機会になりました。今の自分の悩みや現状を話すことも客観的になれる機会ではありますが、学生時代に何を感じていたか今までどうしていたかを改めて自分の言葉に出すことで再確認できました。客観的に自分のことを考える良い時間になりました。

## 3、スーパービジョンに参加して

日々職場の人との交流が多い中で、違う観点からの意見を聞くことができました。他者の意見は、新たな自分の発見や考え方を見つける機会につながることも再発見できました。個人的には10月から兼務になり覚えることも増え申し送りも不十分で心配が多い中、今回の講演を聞きました。講演やスーパービジョンで得たこと「問題を具体化し、他職員と協力して追求しながら仕事に取り組む」姿勢をもって仕事ができればと思います。再び燃え尽きないように趣味や楽しみを加えながら、自分らしさを加えて仕事をしていけたらと思っています



ピア・スーパービジョン グループに分かれて自由に話し合いを行った。

ます。

(さなだ・さおり 社会医療法人系列高齢者施設勤務、社会福祉士2006年度聖学院大学人間福祉学科卒業)

\*20ページのアンケート結果もご覧ください。

### 人間福祉スーパービジョンセンター

#### 対人援助の仕事をしている人を支援します

##### スーパービジョンとは？

スーパーバイザー(熟練のソーシャルワーカー)が経験の浅いソーシャルワーカーに対し、その人の能力を生かし、よりよい実践ができるように支援を行うものです。

##### <プログラム>

##### グループ・スーパービジョン

固定グループによる年間プログラム10回

毎月第2金曜日18:30～20:30

場所:男女共同参画推進センターセミナー室\*

料金:年間3万円(卒業生2万円)

次募集は2011年5月からの10回分

##### 個別スーパービジョン

個人の要望に応じた支援を行う。

1回1.5h程度、日時は相談による

場所:聖学院大学、聖学院本部新館\*\*など

料金:1回6千円(卒業生2千円)

##### スーパーバイザー支援制度

スーパービジョンを行っている人を支援する。

1回1.5h程度、日時は相談による

場所:聖学院大学、聖学院本部新館\*\*など

料金:1回8千円(卒業生5千円)

##### ピア・スーパービジョン

実践現場に必要な知識や日々の業務を見直し、自己点検をするための研修交流会

2012年2月25日(土)13:30～16:30

場所:聖学院大学4号館4階会議室

料金:無料

\*JRさいたま新都心より徒歩8分

JR埼京線北与野駅より徒歩7分

\*\*JR山手線駒込駅より徒歩3分

連絡先 聖学院大学総合研究所

TEL: 048-725-5524

research@seigakuin-univ.ac.jp